

能楽合唱団「高砂」うたい隊 '11 能「高砂」新春公演

能「高砂」の謡を、皆様と一緒に謡って頂く公演です。
寿ぎ、祝いといっためでたさに満ちた「高砂」を
新春をみんなで、大阪城に向かって明るくうたいましょう。

入場無料

日時 平成23年1月5日(水)
12:15~13:00

会場 大阪府庁舎本館ロビー

T540-8570 大阪市中央区大手前2丁目
●地下鉄谷町線・京阪天満橋駅3番出口から徒歩約10分
●地下鉄谷町線・中央線谷町四丁目駅1A番出口から徒歩約10分

プログラム

- ① 能「高砂」の解説……山本章弘
- ② 「高砂」の謡の練習
- ③ 「高砂」の能装束の着付けの実演と解説
- ④ 能「高砂」上演(ダイジェスト版)

能楽合唱団「高砂」うたい隊 2011

メンバー募集

参加費無料

★初心者の方でも子供から大人までどなたでもご参加頂けます。

能「高砂」の謡を一緒に歌って下さるメンバーの方を募集致します。
事前にワークショップで「高砂」の謡を練習して頂きますので、
初心者の方でもお気軽に楽しくご参加頂けます。
参加をご希望の方は、山本能楽堂までお申込下さいませ。

練習日

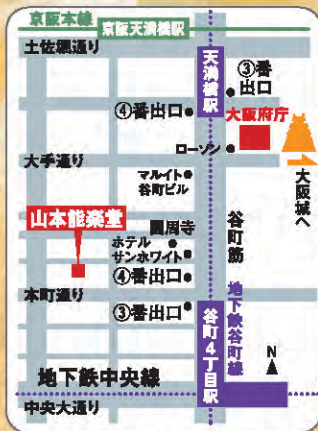
12月17日(金)・27日(月)・28日(火)
各12:00~13:00

★練習日に全てご参加頂かなくても大丈夫です

お申込・お問い合わせ&練習会場

山本能楽堂(国登録文化財)

- 大阪市中央区徳井町1-3-6
(地下鉄「谷町四丁目」下車4番出口より徒歩2分)
- 電話:06-6943-9454 FAX:06-6942-5744
- メール:info@noh-thetaer.com
- 山本能楽堂公式ホームページ:
<http://www.noh-theater.com/>



「高砂」の物語

九州阿蘇神社の神主、友成は、旅の途中従者を連れて播磨国の名所高砂の浦に立ち寄ります。そこに熊手を持った翁と杉箒(すぎぼうき)を持った媼が登場し、松の木陰を掃いています。

老夫婦に友成は、高砂の松について問いかけます。二人は友成に、この松こそ高砂の松であり、遠い住吉の地にある住の江の松と合わせて「相生(あいおい)の松」と呼ばれている謂われを教えます。やがて老夫婦は自分たちは高砂と住吉の「相生の松」の化身であると告げると、住吉での再会を約して夕波に寄せる岸辺で小船に乗り、そのまま風にまかせて、沖へと姿を消して行きました。

友成一行は、先程の尉と媼の言葉に従い舟で住吉に急ぎます。住吉に着くと、住吉明神が出現し給い、千秋万歳を祝って颯爽と舞います。

今回は住吉明神の出現の部分、ダイジェスト版として上演いたします。